

第7回は、陸前高田から届いた、忘れられない風景の記録の2作品。20代の彼女たちの視線が記憶を清新にします。

# 波のした、土のうえ

2014年/68分/日本/ドキュメンタリー  
制作:小森はるか+瀬尾夏美  
撮影・編集:小森はるか テキスト:瀬尾夏美  
出演:阿部裕美/鈴木正春/紺野勝代/瀬尾夏美

確かなこの場所に立つと、  
ここにあった時間が鮮やかに思い出される



いまは昔、  
世界の果てに、  
小さなたね屋が  
あったとさ。

# 息の跡

trace of breath



2016年/93分/日本/ドキュメンタリー 監督・撮影・編集:小森はるか  
編集:秦岳志 整音:川上拓也 特別協力:瀬尾夏美 プロデューサー:長倉徳生、秦岳志  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金 製作:カサマフィルム+小森はるか 配給:東風

(C) 2016 KASAMA FILM + KOMORI HARUKA

2017年

8月11日  
(金・祝日)

上映開始

開場 PM1:15  
波のした、  
土のうえ PM1:30  
息の跡 PM2:55

2本立て  
入れ替えなし  
入場料 1500円

会場:  
相模女子大学グリーンホール  
多目的ホール  
相模原市南区 相模大野 4-4-1  
相模大野駅下車 伊勢丹となり

中学生以下・障がい者の付添いの方 無料

●お目の不自由な方へ 事前連絡ください。当日 12時半に相模大野駅中央改札口から誘導いたします。●お耳の不自由な方へ 受付にて手話通訳と筆談でお迎えいたします。●字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映 視覚・聴覚ご不自由なお知り合いもお誘いください。



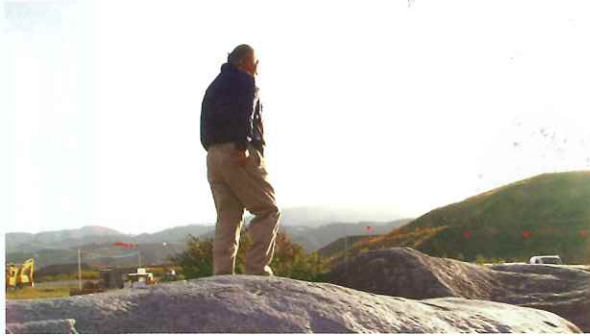
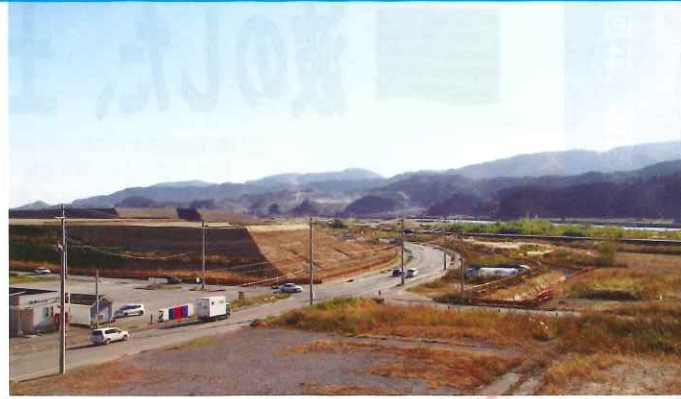
# いま、若いまなざしが時代に希望をともす

## ■小森はるか+瀬尾夏美

映像作家の小森と画家で作家の瀬尾によるアートユニット。2012年より大津波のあとの陸前高田市に暮らしながら、風景と人びとのことばの記録を軸に制作を始める。2015年からは仙台市在住。現在は、展覧会「波のした、土のうえ」、「遠い火山の終戦」を全国各地に巡回中。



波のした  
小森はるか、  
+  
土のうえ  
瀬尾夏美



津波を受けた沿岸の町、「陸前高田」で出会った人びとの言葉と風景の3年8ヶ月の記録から物語を起こすように構成された3編の映像。この町に暮らしていた人々と小森はるか+瀬尾夏美の協同によって制作された。まず、被写体となる住民の方に繰り返しインタビューをしたものを瀬尾が物語に起こす。それをもう一度ご本人にお返しし、ご本人が訂正や調整、書き換えを行いながら、朗読をする。書き直しと朗読を繰り返した声と、この町の風景を重ねるように、小森が映像を編んでいく。



# 息の跡

trace of breath

岩手県陸前高田市。荒涼とした大地に、ぽつんとたたずむ一軒の種苗店「佐藤たね屋」。津波で自宅兼店舗を流された佐藤貞一さんは、その跡地に自力でプレハブを建て、営業を再開した。なにやらあやしげな手描きの看板に、瓦礫でつくった苗木のカート、山の落ち葉や鶏糞をまぜた苗床の土。水は、手掘りした井戸からポンプで汲みあげる。

監督は、映像作家の小森はるか(『the place named』、『波のした、土のうえ』※瀬尾夏美との共同制作)。震災のあと、画家で作家の瀬尾夏美とともに東京をはなれ、陸前高田でくらしはじめた彼女は、刻一刻とかわる町の風景と、そこで出会った人びとの営みを記録してきた。失ったものと残されたもの。かつてあったものと、これから消えてゆくもの。記憶と記録のあわい。そのかすかな痕跡とぬくもりを彼女はうつしだしていく。あの大きな出来事のあとで、映画に何ができたのか。そのひとつの答えがここにある。



## 映画を見たら、瀬尾さんの作品をヨコハマで



映像作品としてだけでなく、全国巡回展としても注目されている『波のした、土のうえ』ですが、瀬尾夏美さんの作品が(ヨコハマトリエンナーレ2017)に出品されます。映画の余韻を確かめにトリエンナーレ会場に足を運んでみてはいかがでしょうか。



瀬尾夏美  
《二重のまち》より 2015



(C) 2016 KASAMA FILM + KOMORI HARUKA

★『息の跡』は  
スマホで音声ガイドが聞ける  
UDcast 対応作品です

※あらかじめ、スマホやタブレットにアプリをダウンロード、音声ガイドデータを取り込んでおけば、どなたも音声ガイドを聞くことができます。

だれとでも楽しめる  
バリアフリー上映で

イヤホン付き FM ラジオをお持ちください。  
ラジオの貸出しもいたします。  
(先着 20 台まで)

会期:2017年8月4日(金)から11月5日(日)まで  
※第2・4木曜日休場  
会場:横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫1号館ほか

※横浜トリエンナーレとは——  
3年に1度、横浜で開催される日本を代表する現代アートの国際展。2001年以来、みなとみらい地区をはじめとする横浜の都心臨海部の施設や屋外広場を会場に開催。  
6回目を数える今年は「島と星座とガラバゴス」と銘打ち、厳選されたアーティストの複数展示により、小さな個展群が緩やかにつながり、星座あるいは多島海を形作るように構成されます。

横浜トリエンナーレ お問い合わせ:ハローダイヤル 03-5777-8600 (8:00~22:00)

お問合せとチケット購入はこちらへ

主催



〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号  
TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447  
e-mail: info@cocozutto.jp

※ボランティア参加者も募集しています。

後 相模原市立環境情報センター  
援 社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会

※ここ de シネマ開催事業は、さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽の助成を受けています。

ここ de シネマ  
今回は

11月24日(金)  
昼の部 PM 2:00  
夜の部 PM 6:30  
の2回上映  
どちらもお楽しみに!